学校番号	３０８

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報Ⅱ　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報Ⅰで学んだ情報セキュリティや情報デザイン、プログラミングの基礎知識を生かし、情報社会において利用者や消費者ではなく、生産や制作をする立場への理解を深める高度な情報活用能力の習得を目ざします。
・問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できるよう、プレゼンテーションなどグループによる実習に取り組みます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・多様なコミュニケーションの実現、情報システムの活用について理解を深め、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けていること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会	・問題解決学習の進め方 ・情報社会の進展と情報技術 ・不正アクセス、情報漏洩などの具体的な事例を調べる ・コミュニケーションの多様化 ・情報デザインが効果的に用いられている事例の調査 ・人間の知的活動への影響	a:情報システムとそれを実現している情報の流れを理解し、不正アクセスや情報漏洩などの具体的事例から、情報社会のリスクと対策を知る。 b:情報社会の法整備や情報モラルについて考え、行動することができる。また、コミュニケーション手段の分類や特徴を意識し、状況に応じたコミュニケーション手段を考えることができる。 c:情報社会のリスクや、効果的な情報デザインについて多様な意見をまとめようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	授業観察 ワークシート 振り返り
	コンテンツ	・メディアの特性と利用 ・学校PRプロジェクト ・コンテンツ制作 ・コンテンツの配信	a:現代社会における多様化するメディアについて知り、メディアミックスやクロスメディアの考え方を理解できる。 b:学校ＰＲ方法をメディアの特性から判断することができる。また、メディアの特性とコミュニケーション手段から適切な情報の表現ができる。その際、アクセシビリティやユニバーサルデザインを意識して作成している。 c:情報の受け手を意識した学校ＰＲのＷｅｂページを制作する。粘り強く、分かりやすいＷｅｂページを作ろうとしている。	定期考査	パフォーマンス課題 ワークシート 定期考査	授業観察 パフォーマンス課題 ワークシート 振り返り

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	データサイエンス	・社会にあふれるデータ ・データベースの管理と操作 ・データの収集と整理 ・テキストマイニングしてみよう ・データの分析と分類	a:データの分類や特性を理解し、データベース管理システムの特徴と使い方を理解できる。 b:データを実際に収集し、整理することでデータの収集と活用する方法を身に付ける。また、テキストマイニングした結果を分析、考察できる。 c:テキストマイニング実習を通して、整理したデータの解釈や分析の注意点を理解する。協力して積極的にデータの収集を行い、粘り強く分析に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	パフォーマンス課題 定期考査	授業観察 パフォーマンス課題 ワークシート 振り返り
	モデル化・シミュレーション	・好きなものをマップにしよう ・モデルの評価と検証 ・ガチャは何回ひけば当たるのか ・データを整理しよう ・キーボードの配列を研究しよう ・星座ランキングを分析しよう ・データを地図上に可視化する	a:分析したいデータを集め、分析できる形式のファイルにまとめることができる。また、データ分析のツールを用いて主成分分析ができる。ガチャのモデルを作成し、理論値を算出する方法を身に付けている。 b:分析結果から、座標軸に意味を中心に考察し、分析結果を見る人に分かりやすく表現できる。モデル化やシミュレーションをプログラムで試すことができる。 c:分析結果を適切に、深く考察することができる。プログラムの一部を変更し、より適切なモデルを検討している。	定期考査	パフォーマンス課題 定期考査	授業観察 パフォーマンス課題 ワークシート 振り返り

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	情報システム	・情報システム ・情報セキュリティ技術 ・情報システムの設計 ・掲示板システムを作ろう	a:情報セキュリティの基本的な考え方やセキュリティポリシーを理解できる。また、情報システムの設計の流れや考え方を理解できる。 b:言語プロセッサの種類を知り、掲示板作成に適切な言語を判断できる。また、システムの動作確認を適切に行っている。 c:掲示板作成に積極的にかかわり、自らの担当を責任をもって取り組んでいる。	実技テスト 定期考査	パフォーマンス課題 定期考査	授業観察 パフォーマンス課題 ワークシート 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度